

確率・統計学（春学期） 中間試験

【問 1】、【問 2】は別々の解答用紙に解答せよ。

解答用紙 2 枚に学籍番号と名前の記入を忘れないようにすること。

単純ミスがあっても途中点を与えられるように、考え方の筋道が分かるように解答すること。

【問 1】 確率変数 X に対する確率密度が、つぎのように与えられている。

$$f(x) = ce^{-|x|}$$

ここで、 x は実数で、 $x \in (-\infty, \infty)$ である。また、 c は実定数である。

- (1) $f(x)$ が確率密度となるように c を求めよ。
- (2) $f(x)$ の特性関数 $F(k)$ を求めよ。ただし、特性関数 $F(k)$ は

$$F(k) = E[e^{ikX}] = \int_{-\infty}^{\infty} dx e^{ikx} f(x)$$

で定義されるものとする。

- (3) 特性関数 $F(k)$ を用いて、 $f(x)$ の平均 μ と分散 σ^2 を求めよ。
- (4) 確率変数を $Z = X^2$ によって変換したときの Z に対する確率密度を $g(z)$ とする。 $g(z)$ を求めよ。ここで、 $z \geq 0$ とする。

【問 2】 以下の問に答えよ。

- (1) 平均 μ 、分散 σ^2 をもつ確率変数 X に対する正規分布 $f(x)$ を書き下せ。
- (2) 確率変数 X に対するポアソン分布

$$p(x) = \frac{\mu^x}{x!} e^{-\mu}, \quad (x = 0, 1, 2, \dots)$$

の平均および分散が μ で与えられることを示せ。

- (3) $\mu = np$ を一定のもと、 $n \rightarrow \infty$ かつ $p \rightarrow 0$ の極限で、2 項分布 $g(x)$ からポアソン分布を導出せよ。ここで、確率変数 X に対する 2 項分布は

$$g(x) = {}_n C_x p^x (1-p)^{n-x}, \quad (x = 0, 1, \dots, n)$$

で与えられる。

【問1】

(1) 規格化条件を用いて、

$$1 = \int_{-\infty}^{\infty} dx f(x) = \int_{-\infty}^{\infty} dx c e^{-|x|} = 2c \int_0^{\infty} dx e^{-x} = 2c$$

より、 $c = 1/2$.

(2)

$$\begin{aligned} F(k) &= \int_{-\infty}^{\infty} dx e^{ikx} f(x) = \frac{1}{2} \int_0^{\infty} dx e^{ikx} e^{-x} + \frac{1}{2} \int_{-\infty}^0 dx e^{ikx} e^x \\ &= \frac{1}{2} \frac{1}{1-ik} + \frac{1}{2} \frac{1}{1+ik} = \frac{1}{1+k^2} \end{aligned}$$

(3)

$$\begin{aligned} \mu &= E[X] = \left. \frac{1}{i} \frac{\partial F(k)}{\partial k} \right|_{k=0} = 0 \\ \sigma^2 &= E[X^2] - \mu^2 = E[X^2] = - \left. \frac{\partial^2 F(k)}{\partial k^2} \right|_{k=0} = 2 \end{aligned}$$

(4)

$$\begin{aligned} g(z) &= \int_{-\infty}^{\infty} dx f(x) \delta(z - x^2) = \int_{-\infty}^{\infty} dx f(x) \delta(x^2 - z) \\ \xi(x) &= x^2 - z \end{aligned}$$

とすれば、 $\xi(x) = 0$ から、 $x = \pm\sqrt{z}$

さらに、

$$\left. \frac{d\xi}{dx} \right|_{x=\pm\sqrt{z}} = 2x|_{x=\pm\sqrt{z}} = \pm 2\sqrt{z}$$

を用いて、

$$\begin{aligned} g(z) &= \int_{-\infty}^{\infty} dx f(x) \left\{ \frac{1}{|2\sqrt{z}|} \delta(x - \sqrt{z}) + \frac{1}{|-2\sqrt{z}|} \delta(x + \sqrt{z}) \right\} \\ &= \frac{1}{2\sqrt{z}} \{ f(\sqrt{z}) + f(-\sqrt{z}) \} = \frac{1}{2\sqrt{z}} e^{-\sqrt{z}} \end{aligned}$$

(別解)

 $z = x^2$ から、 $x = \pm\sqrt{z}$ となるから、同一の z に対して同じ値を与える x が二つある。

$$g(z)dz = \{f(x) + f(-x)\} dx = 2f(\sqrt{z}) dx$$

よって、

$$g(z) = 2f(\sqrt{z}) \frac{dx}{dz} = \frac{1}{2\sqrt{z}} e^{-\sqrt{z}}$$

【問 2】

(1)

$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}\sigma} e^{-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2}}$$

(2)

$$E[X] = \sum_{x=0}^{\infty} x \frac{\mu^x}{x!} e^{-\mu} = e^{-\mu} \mu \frac{\partial}{\partial \mu} \sum_{x=0}^{\infty} \frac{\mu^x}{x!} = e^{-\mu} \mu e^{\mu} = \mu$$

同様に、

$$E[X^2] = \sum_{x=0}^{\infty} x^2 \frac{\mu^x}{x!} e^{-\mu} = e^{-\mu} \mu \frac{\partial}{\partial \mu} \mu \frac{\partial}{\partial \mu} \sum_{x=0}^{\infty} \frac{\mu^x}{x!} = \mu + \mu^2$$

よって、分散 $\sigma^2 = E[X^2] - \mu^2 = \mu$

(3) Quiz 2 の解答を参照。